



2020年12月期（第13期） 第2四半期決算説明会

2020年8月19日（東証ジャスダック グロース：4579）

RaQualia Pharma Inc.

Copyright© 2020 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved

本日のプレゼンテーションの内容

2020年度上半期業績の概要と通期業績予想の修正

2020年度～2022年度中期経営計画の一部修正

2020年度下半期以降の想定

- 1) ペット用医薬品
- 2) ヒト用医薬品
- 3) 研究開発動向
- 4) tegoprazanのグローバル開発
- 5) イオンチャネル創薬
- 6) タミバロテン

その他

- 1) 主なプログラムの状況
- 2) 特許関連ニュース
- 3) 産学官連携の状況
- 4) ラクオリア イノベーションズ株式会社

2020年度上半期業績の概要と通期業績見通し

【連結】 (単位; 百万円)	2019年度 上半期	2020年度 上半期	増減率
事業収益	545	372	-31.7%
事業費用	848	776	-8.5%
(内) 人件費	308	331	7.5%
(内) 研究開発費	430	111	-74.1%
営業利益又は 営業損失 (△)	△302	△403	-
経常利益又は 経常損失 (△)	△307	△402	-
親会社株主に帰属する 当期純利益又は親会社 に帰属する当期純損失 (△)	△310	△459	-

2019年度 通期
1,702
1,718
616
221
△15
21
5

2020年度 期初予想	2020年度 修正予想	増減率
2,129	1,579	-25.8%
2,059	1,840	-10.6%
705	673	-4.5%
418	379	-9.3%
70	△260	-
85	△256	-
13	△333	-

ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。

2020年度上半期の事業ハイライト

COVID-19の影響により前年同期比で事業収益が減少

- ✓ 新型コロナウイルス感染症（COVID-19、以下「COVID-19」）の感染拡大
 - 物流・製品供給に一時的な影響
 - 在庫調整
 - 導出等の事業開発活動で支障

上市品の動向

GALLIPRANT®

- ✓ 米国 : COVID-19、在庫圧縮等が第1四半期に影響
第2四半期は回復基調、売上は伸び悩む
- ✓ 欧州等 : 堅調に推移

ENTYCE®

- ✓ 米国 : COVID-19、在庫圧縮等が第1四半期に影響
第2四半期は回復基調

K-CAB®

- ✓ 韓国 : 院外処方伸長も、
一時的な物流混乱や在庫調整が影響

2020年度通期業績予想の修正

COVID-19の影響を踏まえ通期業績予想を下方修正

- ✓ COVID-19による業績へのマイナス影響を反映：事業収益を下方修正
- ✓ 下半期より上市品が回復すると想定
- ✓ 事業費用も期初予想から減少

上市品の動向

GALLIPRANT®

ペット用医薬品については下半期の回復に期待
エランコ社は3、4月を底にV字回復と説明

ENTYCE®

K-CAB®

COVID-19の影響、在庫調整等により上半期は
一定の停滞があったが、下半期は大きな伸びを
期待

本日のプレゼンテーションの内容

2020年度上半期業績の概要と通期業績予想の修正

2020年度～2022年度中期経営計画の一部修正

2020年度下半期以降の想定

- 1) ペット用医薬品
- 2) ヒト用医薬品
- 3) 研究開発動向
- 4) tegoprazanのグローバル開発
- 5) イオンチャネル創薬
- 6) タミバロテン

その他

- 1) 主なプログラムの状況
- 2) 特許関連ニュース
- 3) 産学官連携の状況
- 4) ラクオリア イノベーションズ株式会社

2020年度～2022年度中期経営計画の一部修正

COVID-19の影響を踏まえ販売ロイヤルティ収入を下方修正

<事業収益>

- ✓ COVID-19による業績へのマイナス影響を反映：
 - 2020年度上半期のペット用医薬品の売上を踏まえ、3カ年計画に反映
- ✓ 導出済みプログラムの開発：概ね計画通り
 - tegoprazan：グローバル開発が進展
 - イオンチャネル創薬：導出先における臨床開発等が順調
 - タミバロテン：提携先Syros社の臨床開発は順調

<事業費用>

- ✓ 事業原価：期初予想から減額
 - ・ 販売ロイヤルティ収入の修正に伴う支払ロイヤルティ減少

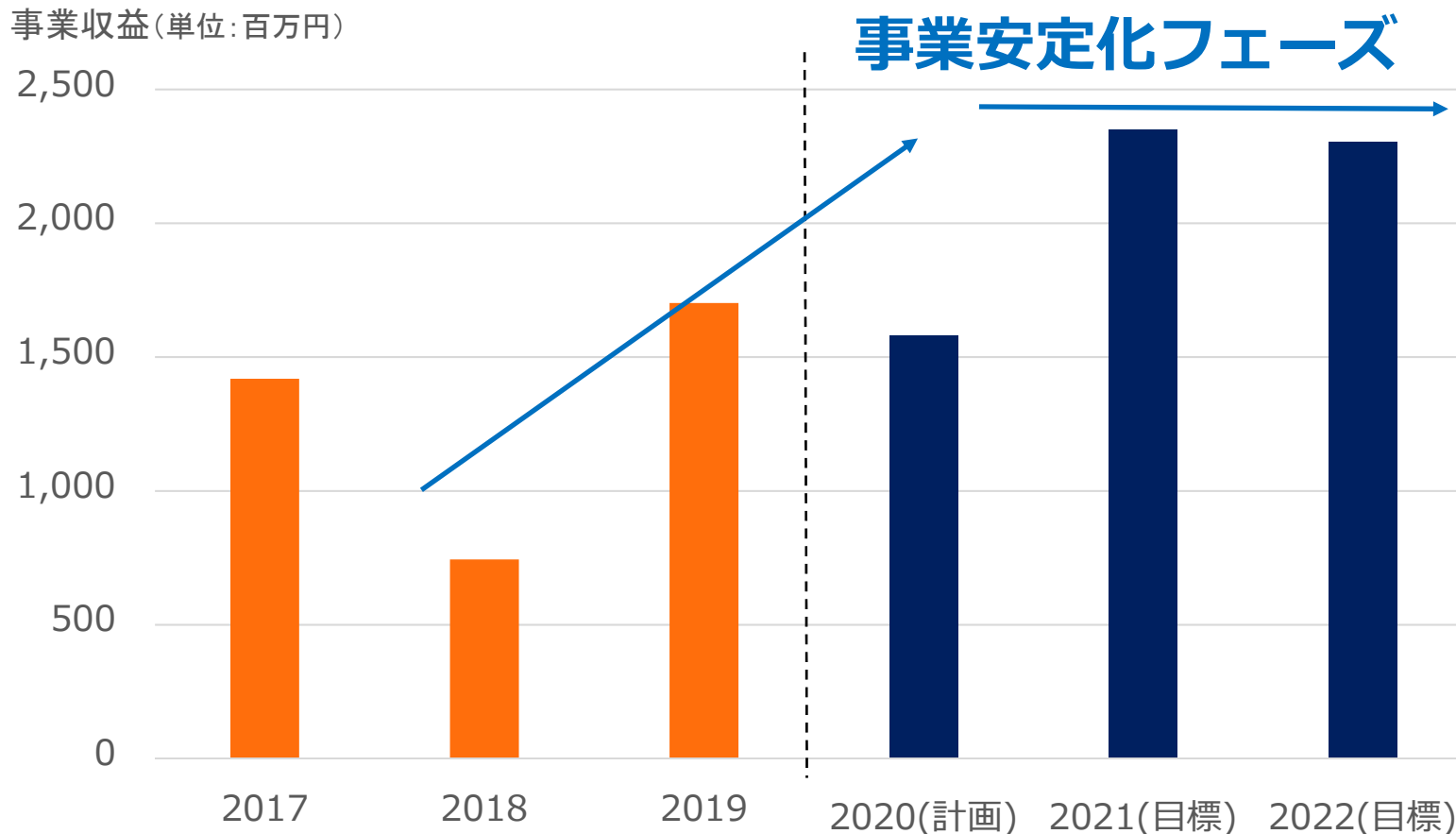
中期経営計画「Gaia2021」：数値目標の修正

新予想 (単位：百万円)

【連結】 (単位；百万円)	2019年12月期 (実績)	2020年12月期 (期初計画)	2020年12月期 (新計画)	2021年12月期 (従来目標)	2021年12月期 (新目標)	2022年12月期 (従来目標)	2022年12月期 (新目標)
事業収益	1,702	<u>2,129</u>	<u>1,579</u>	<u>2,543</u>	<u>2,349</u>	<u>2,535</u>	<u>2,305</u>
事業費用	1,718	<u>2,059</u>	<u>1,840</u>	<u>2,209</u>	<u>2,143</u>	<u>2,168</u>	<u>2,060</u>
(内) 人件費	616	<u>705</u>	<u>673</u>	<u>770</u>	770	<u>789</u>	789
(内) 研究開発費	221	<u>396</u>	<u>379</u>	<u>358</u>	358	<u>360</u>	360
営業利益又は 営業損失 (△)	△15	<u>70</u>	<u>△260</u>	<u>334</u>	<u>205</u>	<u>367</u>	<u>244</u>
経常利益又は 経常損失 (△)	21	<u>85</u>	<u>△256</u>	<u>362</u>	<u>233</u>	<u>384</u>	<u>261</u>
親会社株主に帰属する 当期純利益又は親会社 に帰属する当期純損失 (△)	5	<u>13</u>	<u>△333</u>	<u>247</u>	<u>118</u>	<u>322</u>	<u>200</u>

6) 事業収益の予想推移

事業収益(単位:百万円)



ロイヤルティ収入による事業安定化フェーズへの移行は着々と進展

本日のプレゼンテーションの内容

2020年度上半期業績の概要と通期業績予想の修正

2020年度～2022年度中期経営計画の一部修正

2020年度下半期以降の想定

- 1) ペット用医薬品
- 2) ヒト用医薬品
- 3) 研究開発動向
- 4) tegoprazanのグローバル開発
- 5) イオンチャネル創薬
- 6) タミバロテン

その他

- 1) 主なプログラムの状況
- 2) 特許関連ニュース
- 3) 産学官連携の状況
- 4) ラクオリア イノベーションズ株式会社

1) ペット用医薬品



投資家向けウェブキャストでの発言

Jeffrey Simmons (ジェフリー・シモンズ) 最高経営責任者

I think the one thing I would say is we are coming out of a V-shaped recovery in Companion Animals.

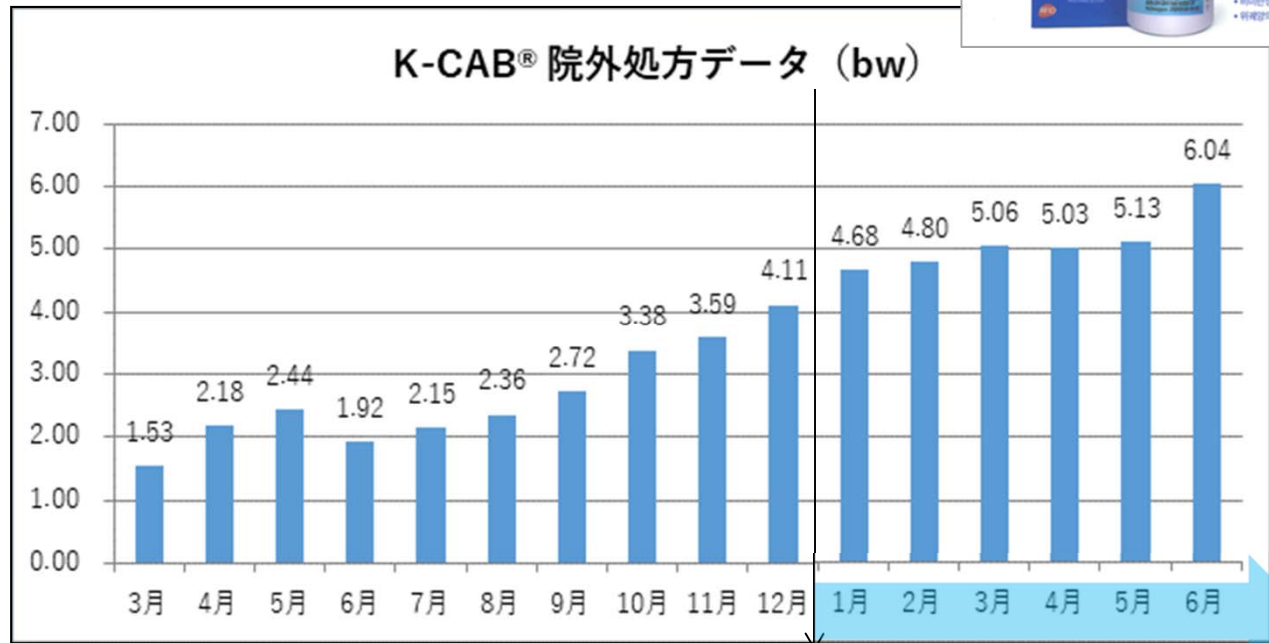
--I think there's still a lot of dynamics to look at relative to international, the retail that was just brought up. So I think we're going to need the second half to see what trends stick and but I would say this, a few things. As I mentioned, we do not see the pandemic impacting our overall parasiticide and pain business. And the Companion Animals has recovered, we believe, from the setback that we saw in March and April

- ・「コンパニオンアニマルビジネスはV字回復している。
—〈中略〉— 3月と4月にみられた影響からリカバーしたと確信している」

2) ヒト用医薬品

胃食道逆流症治療薬「K-CAB®」

韓国における院外処方は引き続き好調



出典：UBISTデータ

ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。

3) 研究開発動向



代表取締役社長・谷直樹

■ tegoprazan日本

- ・ H K イノエン社（韓国）と日本での具体的な開発協力のあり方について協議を行っております。
- ・ 今秋にはめどを付けたいと考えております。

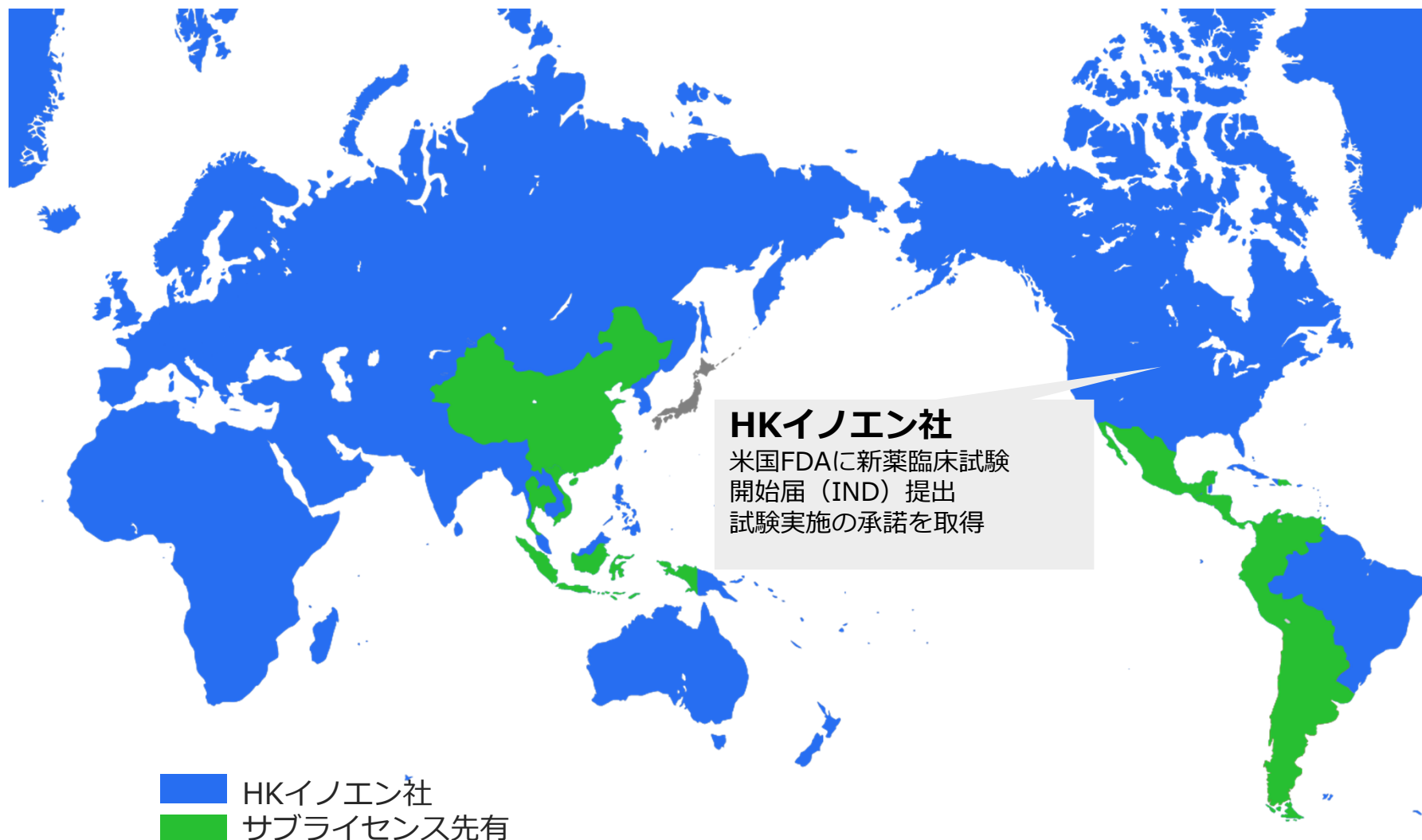
創薬研究部門長・渡邊修造（取締役常務執行役員）

■ イオンチャネル創薬

- ・ 導出済みプログラム— 3つのプログラムそれぞれが、導出先において順調に開発が進んでおります。
- ・ 共同研究プログラム— 両社協力のもとに順調に創薬研究が進捗しております。
- ・ 自社プログラム—— 前臨床前にもかかわらず、医薬品企業等から共同研究/導入の引き合いがあります。

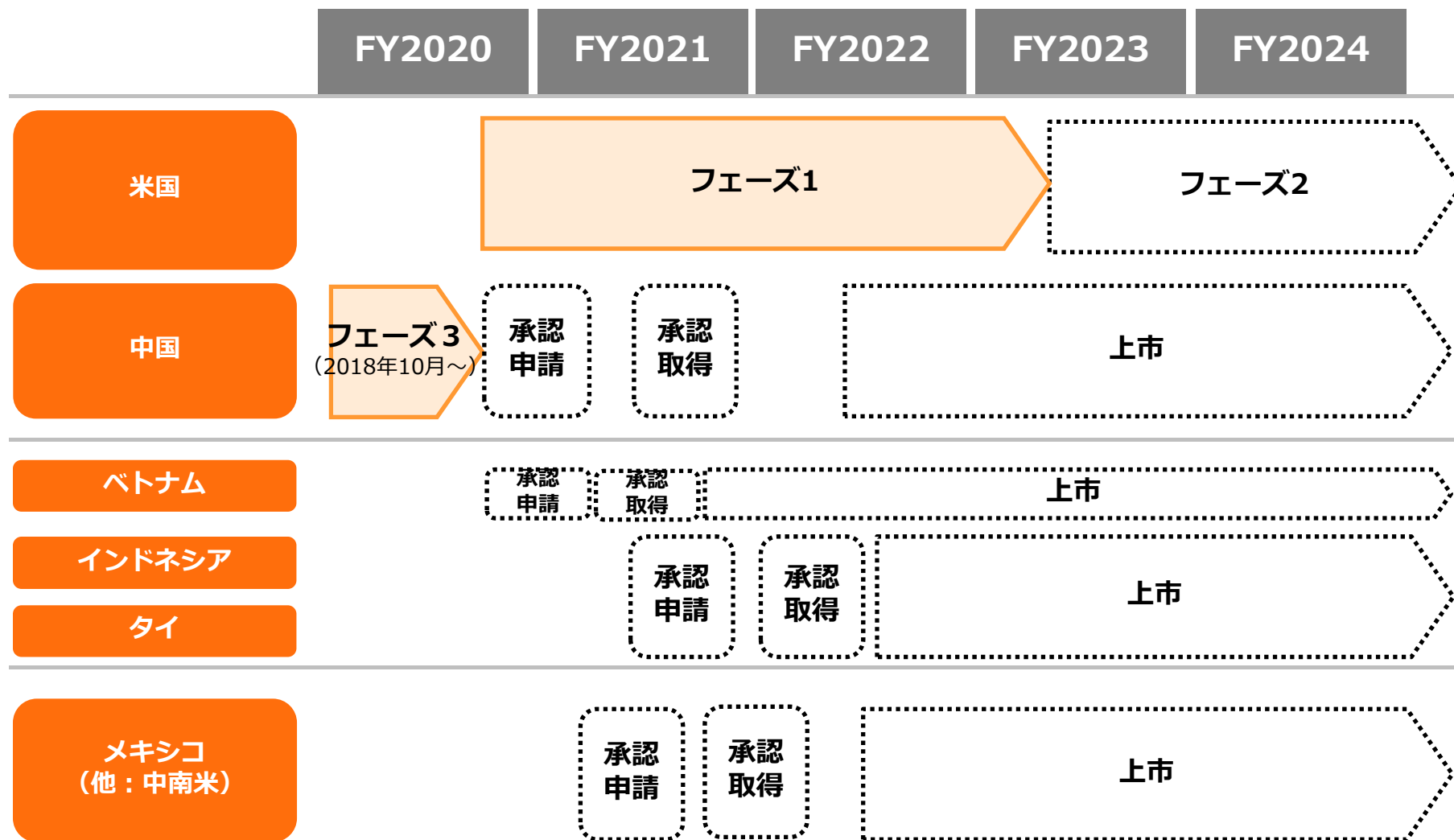
4) tegoprazanのグローバル開発（1） ライセンス動向

2020年6月：HKイノエン社に日本以外の未許諾国・地域を追加許諾



ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。

10) tegoprazan : グローバル開発(2) ロードマップ



ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。

5) イオンチャネル創薬

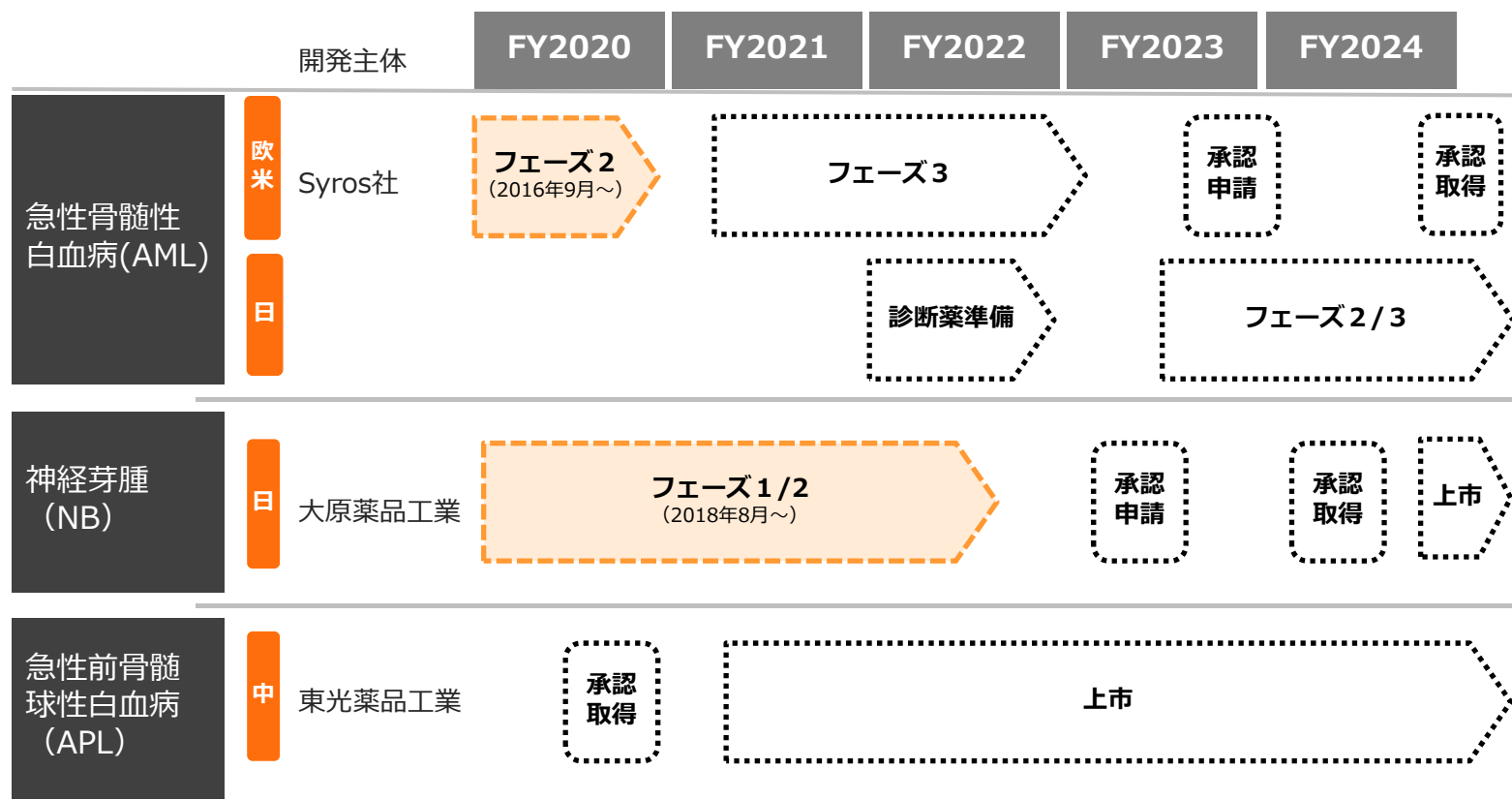
会社名	内容
E A ファーマ株式会社	消化器領域における特定のイオンチャネル 現在、同社にて開発中
マルホ株式会社	選択的ナトリウムチャネル遮断薬 現在、同社にて開発中
旭化成ファーマ株式会社	P2X7受容体拮抗薬 (RQ-00466479、AKP-23494954) 現在、同社にて開発中
あすか製薬株式会社	特定のイオンチャネルを標的とした共同研究

6) タミバロテン

- 急性骨髄性白血病（AML）は、未治療および再発・難治の患者さんを対象とし、5-アザシチジン（ブリストル・マイヤーズ スクイブ）と併用した場合の効果や安全性を調べるフェーズ2試験を実施中。**Syros社（米国）は2020年第4四半期（2020年10－12月）に一部データを公表する予定。**
- 乳がん（BC）は、AMLの併用試験の効果状況を鑑みて開始予定。
- 神経芽腫（NB）は、Epigenetic作用薬との併用により、POCを確立し、新薬承認を目指す。
- 急性前骨髄球性白血病（中国・APL）は、亜ヒ酸との併用によるATRA再発並びに不応性APLに対する中国での輸入承認を目指す。
- 好中球減少症（NP）は、導出交渉中で、可能な限り早期契約締結を目指し、がん適応以外への拡大を図る。

適応症	導出先	探索	前臨床	臨床試験			申請	承認	販売	契約地域
				フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3				
急性骨髄性白血病 Acute Myeloid Leukemia: AML	Syros Pharmaceutical, Inc. (米)	○	○	○	● フェーズ2実施中					米国
乳がん Breast Cancer: BC	Syros Pharmaceutical, Inc. (米)	○	○	○	○ フェーズ2準備中					米国
神経芽腫 Neuroblastoma: NB	大原薬品工業株式会社	○	○	● フェーズ1/2実施中						日本
急性前骨髄球性白血病 Acute Promyelocytic Leukemia: APL	東光薬品株式会社	○	○	○	○	○	● 申請中			中国
好中球減少症 Neutropenia: NP	導出交渉中	○	● 前臨床終了							アジア

6) タミバロテン ロードマップ



本日のプレゼンテーションの内容

2020年度上半期業績の概要と通期業績予想の修正

2020年度～2022年度中期経営計画の一部修正

2020年度下半期以降の想定

- 1) ペット用医薬品
- 2) ヒト用医薬品
- 3) 研究開発動向
- 4) tegoprazanのグローバル開発
- 5) イオンチャネル創薬
- 6) タミバロテン

その他

- 1) **主なプログラムの状況**
- 2) **特許関連ニュース**
- 3) **産学官連携の状況**
- 4) **ラクオリア イノベーションズ株式会社**

1) 主なプログラムの状況 (2) 導出準備プログラム

- カリウムイオン競合型アシッドブロッカー：P-CAB (tegoprazan/RQ-00000004) は、フェーズ1の治験総括報告書 作成完了 (2016年12月)
- 5-HT₄部分作動薬 (RQ-00000010) は、フェーズ1の治験総括報告書作成完了 (2017年10月)
- 5-HT_{2B}拮抗薬 (RQ-00310941) は、フェーズ1の治験総括報告書作成完了 (2018年4月)
- モチリン受容体作動薬 (RQ-00201894) は、前臨床試験が終了、フェーズ1の検討中
- グレリン受容体作動薬 (RQ-00433412) 及びTRPM8遮断薬 (RQ-00434739) は、前臨床試験の検討中

プロジェクト	化合物	主適応症	臨床試験						実施地域		
			探索	前臨床	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請		承認	販売
カリウムイオン競合型アシッドブロッカー (P-CAB)	RQ-00000004 (tegoprazan)	胃食道逆流症 (GERD)	○	○	●						日本
5-HT ₄ 部分作動薬	RQ-00000010	胃不全麻痺 機能性胃腸症 慢性便秘	○	○	●						英国
5-HT _{2B} 拮抗薬	RQ-00310941	下痢型過敏性腸症候群 (IBS-D)	○	○	●						英国
モチリン受容体作動薬	RQ-00201894	胃不全麻痺 機能性胃腸症 術後イレウス	○	●	○						日本
グレリン受容体作動薬	RQ-00433412	がんに伴う食欲不振 悪液質症候群 脊髄損傷に伴う便秘	●	○	○						日本
TRPM8遮断薬	RQ-00434739	神経障害性疼痛 (化学療法起因性冷アロディニア)	●	○	○						日本

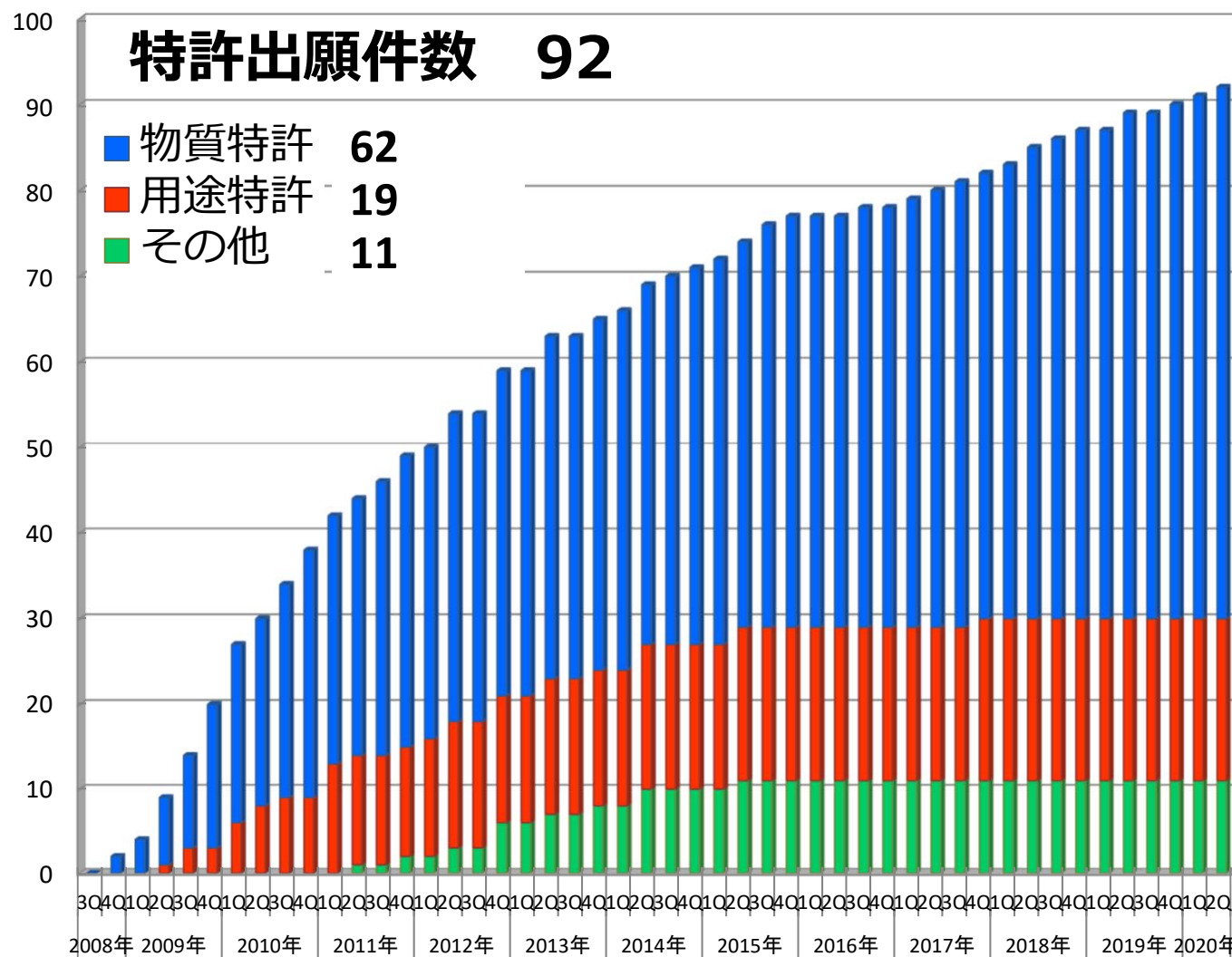
ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。

2) 特許関連ニュース

日付	対象	地域	内容
2020年6月10日	選択的TRPM8遮断薬 (アザスピロ誘導体)	欧州	物質特許
2020年6月2日	5-HT4部分作動薬に関する新規用途	日本	用途特許
2020年3月26日	選択的ナトリウムチャンネル遮断薬 (アリアルアミド誘導体)	中国	物質特許
2020年3月5日	選択的ナトリウムチャンネル遮断薬 (ピラゾロピリジン誘導体)	韓国	物質特許
2020年3月3日	選択的ナトリウムチャンネル遮断薬 (ピロロピリジノン誘導体)	韓国	物質特許
2020年1月7日	5-HT4部分作動薬に関する新規用途	欧州	用途特許

2) 特許出願状況

(各国移行件数を除く)



ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。

3) 産学官連携の状況

難治性神経芽腫の治療薬の開発を目的とした特定の酵素の選択的阻害剤の探索 (2015年5月)

名古屋大学大学院医学系研究科生物化学講座分子生物学 (門松 健治 教授)

心不全治療薬の開発を目的とした特定タンパク質に対する選択的阻害剤の探索 (2015年10月)

名古屋大学大学院医学系研究科循環器内科学 (竹藤 幹人 助教)

老化を利用した変異型KRAS肺癌の新規治療薬開発 (2018年1月)

名古屋大学大学院医療技術学専攻病態解析学講座 (佐藤 光夫 教授)

網膜静脈閉塞症 (RVO) 治療薬の探索 (2019年5月)

岐阜薬科大学学生体機能解析学大講座薬効解析学研究室 (原 英彰 教授)

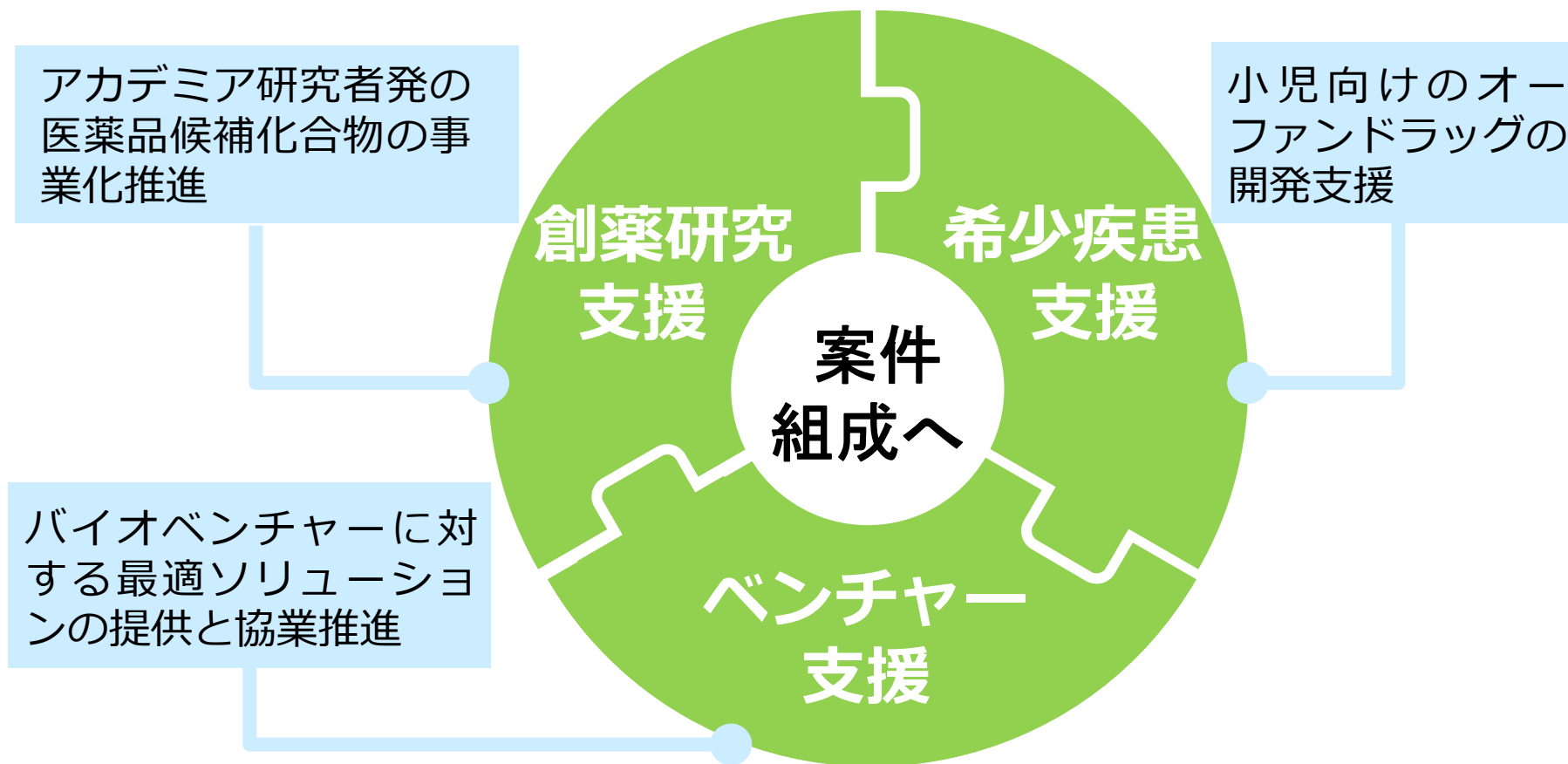
筋委縮性側策硬化症 (ALS) の新規治療薬の創出に向けた初期探索研究 (2019年7月)

名古屋市立大学薬学系研究科病態生化学分野 (築地 仁美 講師)

マクロライド耐性型A群レンサ球菌に対する新規治療薬開発 (2019年12月)

名古屋市立大学医学系研究科細菌学分野 (長谷川 忠男 教授)

4) ラクオリア イノベーションズ株式会社



- ◆アカデミアや創薬系ベンチャーと新しいメカニズムの開発化合物候補品の共同研究に向けた協議を継続
- ◆ライフサイエンス領域のベンチャーに対し、技術開発支援や知財戦略の策定支援を行うべく、関係構築につとめた

将来の見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements) を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。リスクや不確実性は、特に製品（研究開発プログラムおよび化合物）に関連した見通し情報に存在します。製品のリスク、不確実性には、技術的進歩、特許の競合他社による獲得、臨床試験の完了、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念、規制当局からの承認取得、国内外の医療保険制度改革、医療費抑制への傾向、国内外の事業に影響を与える政府の法規制、新製品開発に付随する課題などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。



RaQualia
innovators for life

お問合せ先

当社HPからお願いいたします。
<https://www.raqualia.co.jp/contact>

RaQualia Pharma Inc.

Copyright© 2020 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved

参考資料

2020年度上半期業績の概要（1） 連結損益計算書

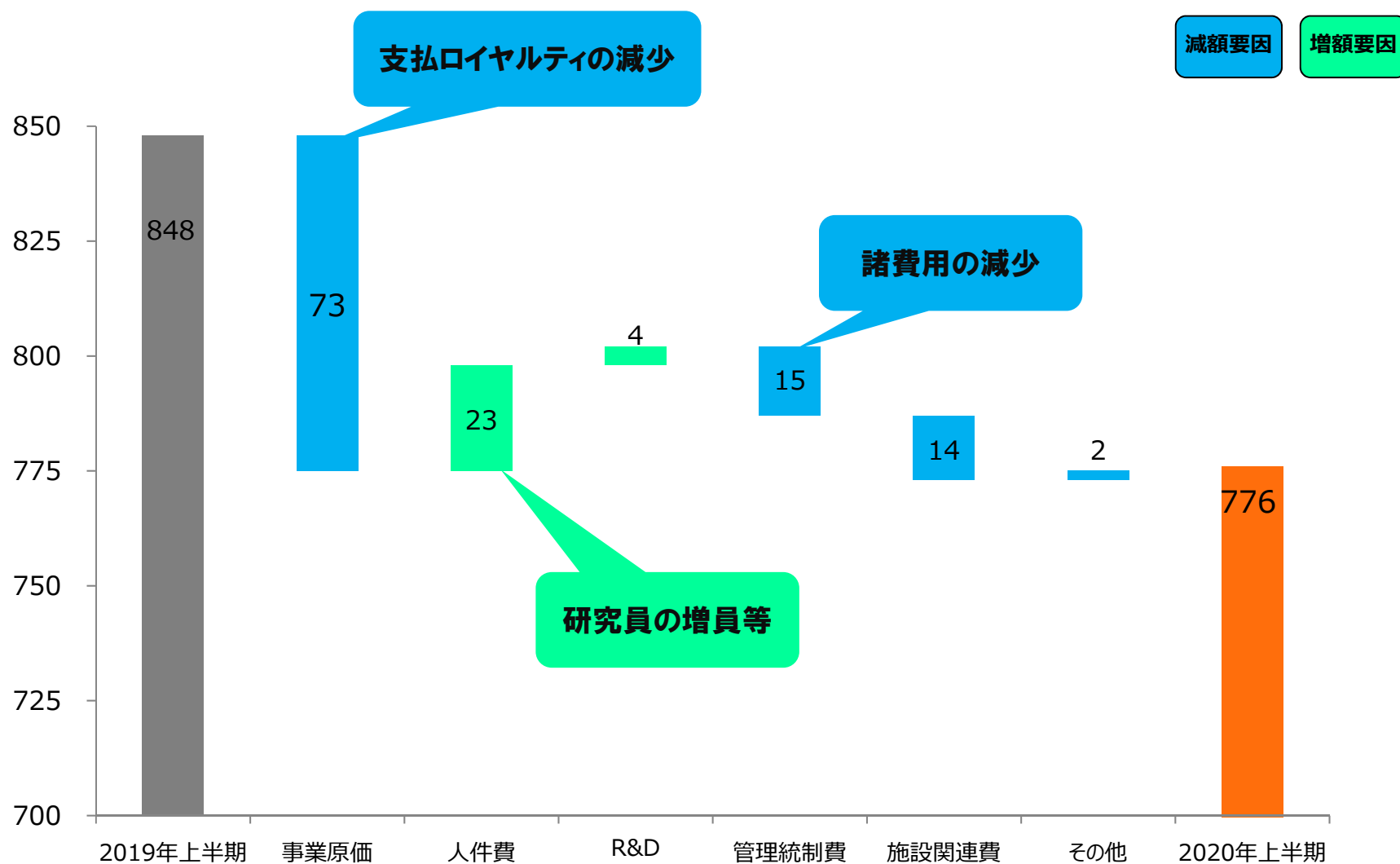
（単位：百万円）

【連結】	2019年度上半期	2020年度上半期	増減	進捗率
事業収益	545	372	△31.7%	24%
事業費用及び事業原価	848	776	△8.5%	42%
営業損失（△）	△302	△403	—	—
経常利益又は経常損失（△）	△307	△402	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失（△）	△310	△459	—	—

ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。

2020年度上半期業績の概要（2） 事業費用の増減要因

（単位：百万円）



ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。

2020年度上半期業績の概要（3）連結貸借対照表

(単位：百万円)

【連結】	2019年12月期	2020年上半期	増減	主な増減内容
流動資産	3,067	2,633	△434	
現金及び預金	2,174	1,790	△384	
売掛金	747	249	△497	前期はHKイノエン社との契約一時金
有価証券	26	362	336	一部余剰資金を有価証券で運用
前払費用	69	171	102	
その他	51	61	10	
固定資産	1,769	1,730	△38	
有形固定資産	248	276	28	研究用の分析装置の取得
無形固定資産	32	33	1	
投資その他資産	1,488	1,420	△67	
資産合計	4,836	4,364	△472	
流動負債	183	185	2	
固定負債	32	27	△4	
負債合計	215	213	2	
純資産合計	4,620	4,151	△469	
負債・純資産合計	4,836	4,364	△472	

ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。

2020年12月期第2四半期決算概要 4) 連結キャッシュ・フロー計算書 (単位：百万円)

【連結】	2019年上半期	2020年上半期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	△391	△35	356
投資活動によるキャッシュ・フロー	220	9	△211
財務活動によるキャッシュ・フロー	366	△0	△366
現金及び現金同等物に係る換算差額	△27	△21	6
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	168	△47	△215
現金及び現金同等物の期首残高	1,829	2,200	371
現金及び現金同等物の期末残高	1,997	2,152	155

決算ハイライト

- 営業活動によるキャッシュ・フローの主な内訳は、税引前調整前当期純損益395百万円及び減価償却費53百万円を計上したほか、売上債権の減少497百万円、前払費用の増加102百万円
- 投資活動によるキャッシュ・フローの主な内訳は、投資有価証券の売却による収入168百万円、投資有価証券の取得による支出106百万円及び有形固定資産の取得による支出49百万円

ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。

会社概要

提出日現在

社名

ラクオリア創薬株式会社

代表取締役

谷 直樹

事業内容

医薬品の研究開発、医薬品及び臨床開発候補品に関わる基盤技術の知的財産の販売及び使用許諾

従業員

70名

設立

2008年2月19日

資本金

22億5,509万円

発行株式総数

20,950,642株

本社



名古屋駅

名古屋大学

創薬研究部門

